

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	長寿社会課	職	課長	氏名	紺野 欽一
評価者	組織	長寿社会課	職	課長	氏名	三浦 靖子

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進	要介護認定率 (※)	%	17.3 (H24)	18.4 (H23)	18.6 (H24)	B
施策2	高齢者の健やかな暮らしのための環境整備	〈参考〉高齢者虐待件数	件	— (—)	224 (H23)	243 (H24)	B

(※) 要介護認定率
「要介護・要支援認定者数」÷「65歳以上県人口」×100

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進	要介護認定率	%	17.3 (H24)	18.4 (H23)	1 元気シニアスタンプラリー事業費補助金	老人クラブ会員及び県内高齢者	1,000	1,000	B	見直し	
							2 ゆーりんピック2012開催事業費	県内高齢者	14,500	14,500	A	継続	
施策2	課題1	高齢者虐待の防止	〈参考〉高齢者虐待件数	件	— (—)	224 (H23)	243 (H24)	高齢者虐待総合対策事業費	市町職員、県民等	3,791	1,406	B	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 元気シニアスタンプラリー事業費補助金	事業開始年度 H21	事業終了予定年度 -
	根拠法令・計画等	

作	組	織	長寿社会課
成	職	氏名	主事・森田 香奈子
者	電話番号	076 - 225 - 1899 内線 4199	

事業の背景・目的
 高齢者が外出するための動機付けを行うことで、閉じこもりを防止するとともに、出歩くことによる健康づくりや介護予防を推進し、より多くの高齢者が生きがいを持って元気に生活できるよう支援する。

事業の概要

実施主体 (公財)石川県老人クラブ連合会

参加対象者 県内の60歳以上の高齢者

対象イベント及び規定回数 県内で開催される行事10回以上
 ①老人クラブ行事
 ②介護予防教室
 ③ゆーりんピック
 ④お祭り等のイベントなど

実施期間 5月～12月

達成者への対応
 ①達成者全員に認定書交付
 ②抽選で賞品 ・県内温泉ペア宿泊券 3組
 ・日帰りペア入浴・昼食券 12組
 ・県産品 45名

事業費

スタンプラリー台紙を含む案内チラシ作成等	700千円	国庫補助金350千円 県負担 350千円 県負担 300千円
抽選粗品購入(送料含む)	300千円	

これまでの見直し状況

平成22年度から、
 対象者：県内の60歳以上の高齢者(H21: 老人クラブ会員及び老人クラブに興味のある方)
 対象イベント：県内で開催される行事等(H21: 老人クラブ行事及び県老連指定イベント)
 実施期間：7月～12月(H21: 6月～10月)

平成23年度から
 実施期間：5月13日～12月
 対象イベント：ゆーりんピックを対象イベントに追加
 記念品の充実: 県産品のほか、東北(被災地)の特産品を追加(平成23年度のみ)

平成24年度から
 実施期間：5月～12月
 ゆーりんピックに参加する各選手へ台紙の配布

施策・課題の状況								
施策	高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進	評価	B					
課題	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進							
	指標	要介護認定率	単位	%				
	目標値	現状値						
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	17.3	17.3	17.3	17.7	18.4	18.6		
事業費								
	(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
事業費	予算	2,100				1,000	1,000	1,000
	決算	1,785				1,000	1,000	1,000
一般	予算	1,300				650	650	650
	決算	1,116				650	650	650
事業費累計		1,785				2,785	3,785	4,785
評価								
項目	評価	左記の評価の理由						
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	平成24年度は、単位老人クラブや市町老人クラブ連合会の行事をはじめ、介護予防教室(地域サロン含む)、ボランティア活動、ねんりんピック、お祭り等のイベントなどへの参加者から741通(平成23年度:851通、平成22年度:349通、平成21年度:86通。うち規定参加回数の達成者は575名)の応募があり、多くの高齢者の閉じこもり防止や健康づくりに貢献した。						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	本格的な高齢社会を迎え、今後も一層の高齢化の進展が見込まれていることから、これからの社会を活力あるものにするためにも、閉じこもり防止や生きがいづくりの一層の充実を図る必要がある。 平成25年度からは、多くの方に参加していただけるよう、ボランティア活動に8回以上参加した方を表彰することとし、参加を促す。(8回以上:シルバー賞、15回以上:ゴールド賞、30回以上:プラチナ賞)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高齢者虐待総合対策事業費	事業開始年度 H17	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	

作	組	織	長寿社会課		
成	職	氏名	主事 ・ 森田 香奈子		
者	電話番号	076 - 225 - 1899 内線 4199			

事業の背景・目的
 高齢者虐待を防止し、高齢者の尊厳を支えるために、高齢者虐待に関する正しい知識の普及や関係者に対する技術支援等、地域における高齢者虐待防止に向けた環境を整備する。また、特に身体拘束廃止の取組みについては、施設職員の研修等により引き続き推進する。

- 事業の概要**
- 1 高齢者虐待総合対策検討会の開催
 高齢者虐待防止に向けた環境づくりのために必要な対策を検討する。
 構成:学識経験者、医療関係者、福祉関係者、市町等
 - 2 高齢者虐待対応専門職チーム派遣等
 石川県社会福祉士会が、金沢弁護士会と連携し、市町からの要請に応じて、社会福祉士と弁護士からなる高齢者虐待専門職チームを派遣する等により、市町の虐待対応への支援を行う。
 実施主体: 石川県社会福祉士会
 - 3 高齢者虐待防止研修会等の開催
 高齢者の介護に関わる専門職等を対象に、虐待対応のスキルアップを図る。
 開催回数:養護者向け(3日間)2回、養介護施設従事者向け(七尾1回含む)計5回(1回追加)
 - 4 成年後見制度研修会(開催回数:1回)
 市町や地域包括支援センター職員を対象に制度活用の促進を図り、高齢者の権利擁護に資する。
 - 5 在宅高齢者介護家族支援スキルアップ研修(開催回数:2回)
 家族を支える地域包括支援センターや居宅サービス事業の従事員のスキルアップを図る。
 - 6 高齢者虐待防止困り先会議の開催
 サロン等を活用して、高齢者に直接に虐待防止等に係る制度を説明し、意識啓発に努める。
 開催回数:19回(1市町あたり1回)
 - 7 虐待対応協力者支援会議
 虐待対応において市町と連携する関係機関や民間団体に対し、意識の啓発や早期発見を促し、高齢者虐待の潜在化防止を図る。 開催回数:19回(1市町あたり1回)
 - 8 身体拘束実態調査(アンケート)の実施
 - 9 身体拘束廃止推進員養成研修
 各施設の指導的立場にある職員を対象に廃止取組みの推進を図る。開催回数:2回
 - 10 看護指導者養成研修(東京での養成研修に派遣)
 施設の看護師など看護の指導的立場にある職員を中央の養成研修に派遣し、スキルアップを図る。
 開催回数:1回
 - 11 実務看護職員研修
 各施設の身体拘束廃止を推進できる看護職員を対象に、スキルアップを図る。開催回数:2回
 - 12 身体拘束ゼロ出前講座
 身体拘束廃止を目指す施設をサポートするため、廃止に成功した手法等の紹介や講師が施設に出向いて現場で直接研修を実施するほか、廃止の成功事例集を配布

施策・課題の状況						
施策	高齢者の健やかな暮らしのための環境整備			評価	B	
課題	高齢者虐待の防止					
	指標	(参考) 高齢者虐待件数		単位	件	
	目標値	現状値				
	—	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	—	195	188	220	224	243

事業費						
(単位:千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	4,353	2,537	2,600	1,906	3,791
	決算	2,843	1,627	1,861	1,749	1,406
一般	予算	2,177	1,269	1,300	953	1,896
	決算	1,422	814	931	64	703
事業費累計		17,651	19,278	21,139	22,888	24,294

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 平成24年度においては、施設での虐待の未然防止(施設従事者対象の虐待防止研修会・講演会286人参加)や、自宅等での虐待の早期発見・虐待防止に向けた啓発(各地域サロン等での説明会5回・299人参加)、虐待対応にあたる市町のサポート(対応困難事例に対して助言等を行う高齢者虐待対応専門職の派遣4件)などの取組みを着実に実行し、高齢者への虐待を防止し、尊厳を尊重する環境づくりを進めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 高齢者虐待は高齢者の尊厳を冒す重大な問題であることから、社会全体での対応が行われるよう、も引き続き積極的に高齢者虐待の防止に取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ゆーりんピック2012開催事業費	事業開始年度: H23	事業終了予定年度:	作 組 織: 長寿社会課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名: 主事 能木場 貴也 者 電話番号: 076 - 225 - 1417 内線 4049

事業の背景・目的

ねんりんピックで高まった健康や生きがいづくりへの機運を一過性に終わらせることのないよう、地域や世代を超えたスポーツ・文化の交流大会「ゆーりんピック2012」を開催し、高齢者が元気で生きがいを持って生活できる地域社会の実現を図る。

事業の概要

- (1) 大会期間
5/12,13,18,19,20,22
- (2) 内容
 - ① 開会式 5/19 会場: 金沢城公園三の丸広場
開会式イベントとして
 - ・絆づくり広場(ニュースポーツ体験ゾーン、グルメキッチンカー)
 - ② スポーツ・文化交流大会(県内在住の60歳以上限定)
 - ・スポーツ交流大会(22種目)
 - ・文化交流大会(5種目)
 - ・美術展
 - ③ イベント
 - 一般参加型イベント
 - ・スポーツ・文化交流大会(12種目)(年齢の制限なし)
 - ・ウォーキング
 - 世代間交流イベント
 - ・サッカーの高齢者チームとジュニアチームの交流試合
 - ・有名選手による模範演技と指導
- (3) 会場
いしかわ総合スポーツセンター、北部公園など20会場
- (4) 参加規模
約11,000人
- (5) 交付先
ゆーりんピック実行委員会

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	高齢者の生きがいづくり対策				評価	B
課題	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進					
	指標	要介護認定率			単位	%
	目標値	現状値				
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	17.3	17.3	17.3	17.7	18.4	18.6

事業費					
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算			15,000	14,500
	決算			15,000	14,500
一般	予算			15,000	14,500
財源	決算			15,000	14,500
事業費累計		0	0	15,000	29,500

評価		
	項目	評価
		左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	ゆーりんピック2012では、スポーツ・文化交流大会(スポーツ22種目、文化5種目)や美術展などを開催し、約11,000人の選手・役員等が参加し、地域や世代を超えた交流が図られ、高齢者が元気で生きがいを持って生活できる地域社会の実現に寄与した。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本格的な高齢社会を迎え、今後も一層の高齢化の進展が見込まれていることから、高齢者の方々が、自立し生きがいを持って生活できる社会づくりを進める必要があり、今後とも、本事業を継続させていく。